



CubeSoft
Concurrent Universal Bright Engine



Cube PDF ユーザーズマニュアル

2010.12.13 第4版

1. PDFの作成

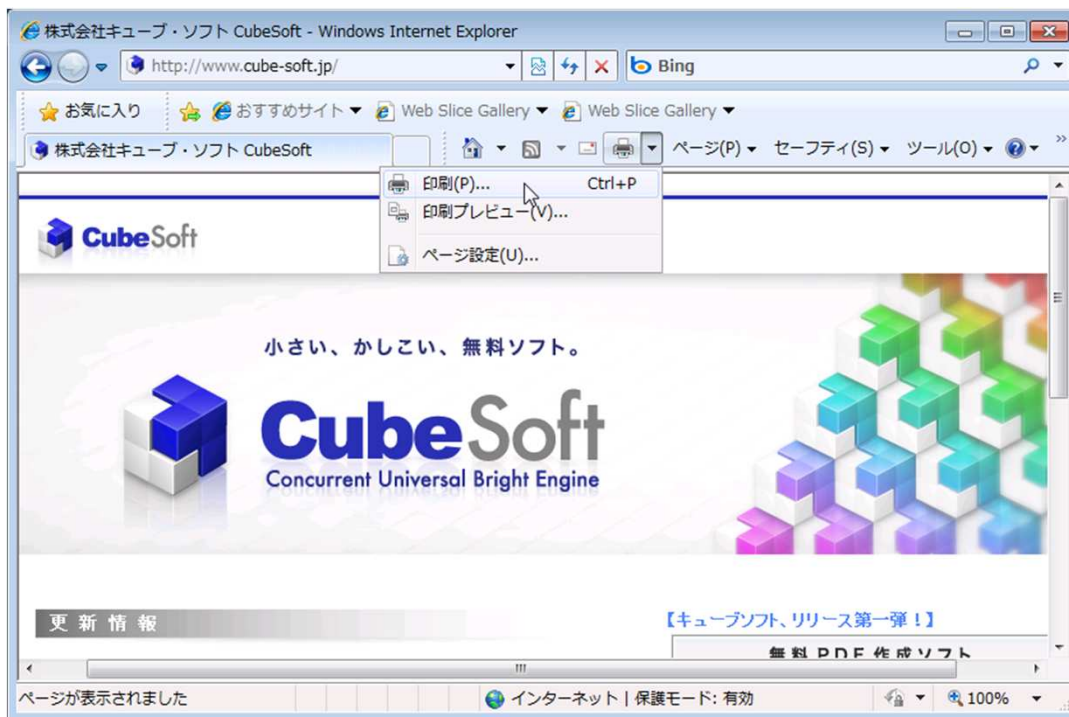
CubePDF は、PDF プリンタとしてインストールされます。

そのためCubePDF を使用してご利用のコンピュータのどのプログラムからでも文書を PDF へ変換することができます。

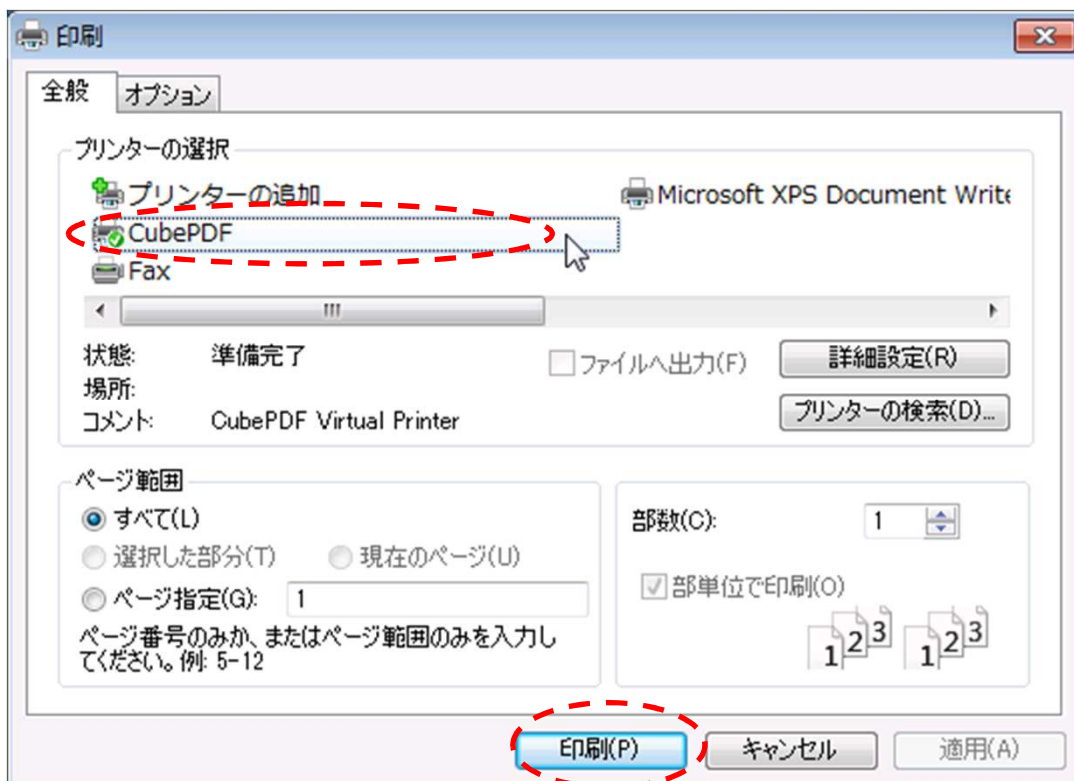
PDFの作成

1. 文書のプログラムで「印刷」を選択します。

(図はInternet Explorerの例)



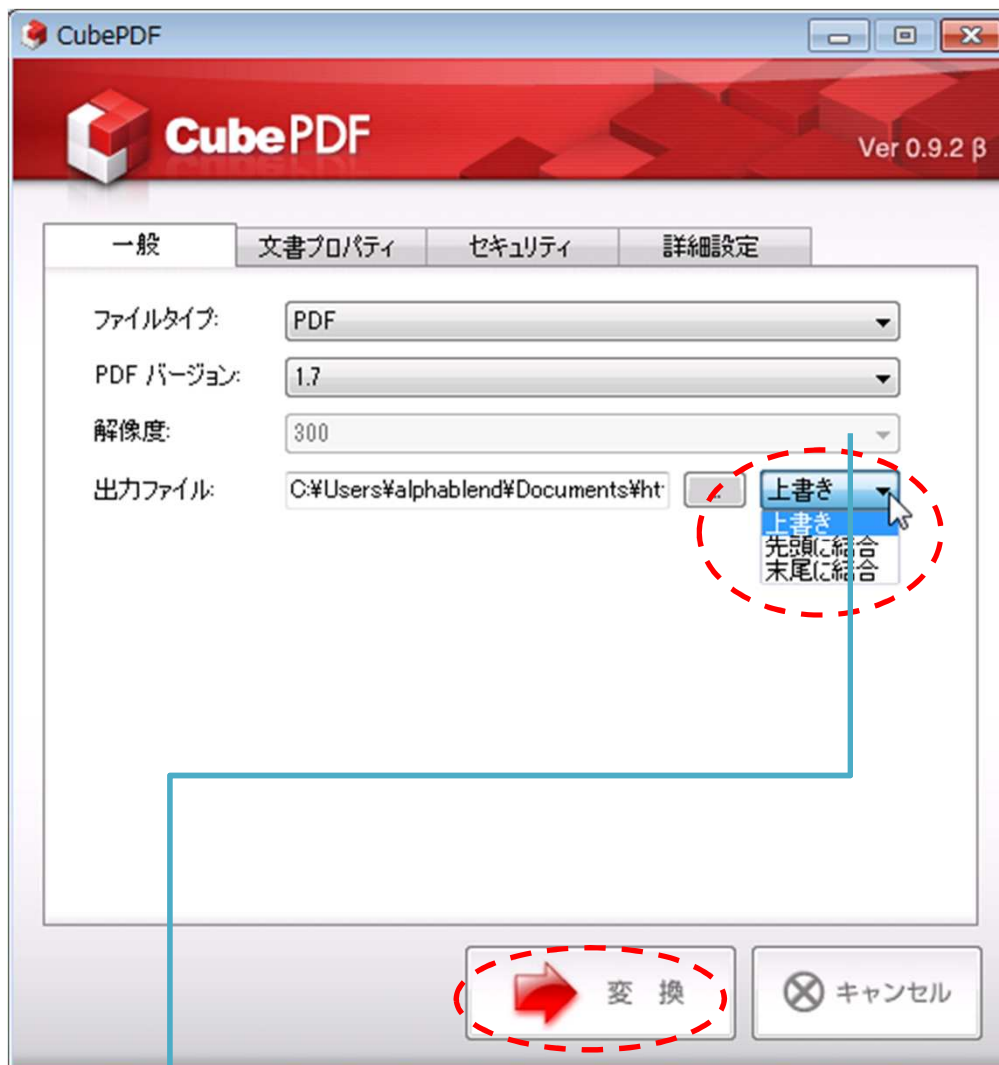
2. 利用できるプリンタの一覧から「CubePDF」プリンタを選択し、[印刷] ボタンをクリックします。



3. 新しいウィンドウにて次の画面が表示されます。

「出力ファイル名」欄で保存箇所を確認し、「変換」をクリック。

(保存箇所を変更する場合は、「出力ファイル名」の右欄にある「…」ボタンをクリックして変更してください。)



※PDFファイル生成時の形態

既存のPDFファイルに結合することができます。

「上書き」で変換すると指定したファイル名でPDFファイルを生成します。



「先頭に結合」で変換すると指定したPDFファイルの先頭に追加したPDFファイルを生成します。



「末尾に結合」で変換すると指定したPDFファイルの末尾に追加したPDFファイルを生成します。



基本的なPDFの作成の仕方は以上です。
詳細設定については、次項にて解説していきます。

2. CubePDFのオプション設定

2-1. 一般

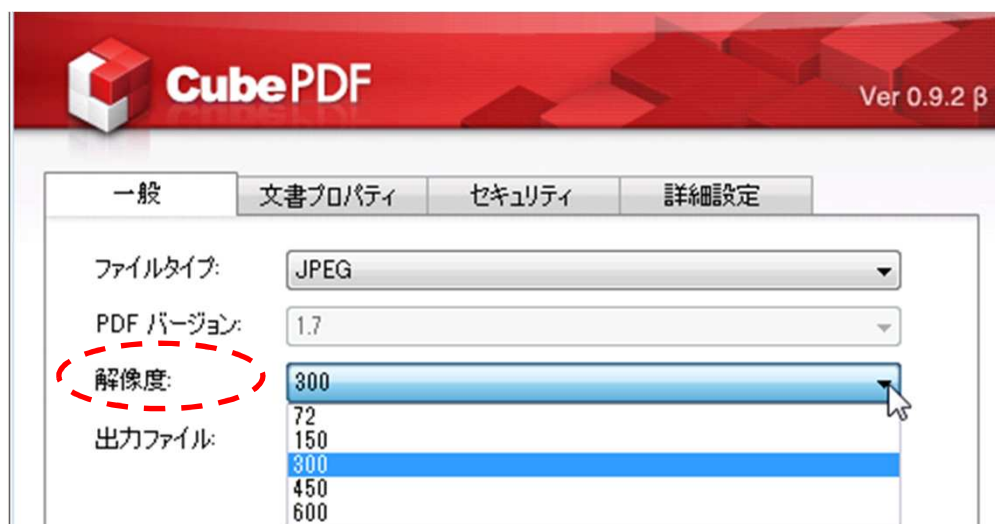
ファイルタイプから、PDF形式以外にも各種形式に変換することが可能です。プルダウンで形式を選んでください。



PDF形式の場合、PDFのバージョンを選択することができます。
現在、最新はver.1.7なので、1.7でご利用されることを推奨します。



JPEGなど画像形式を選択した場合、解像度を選択することができます。

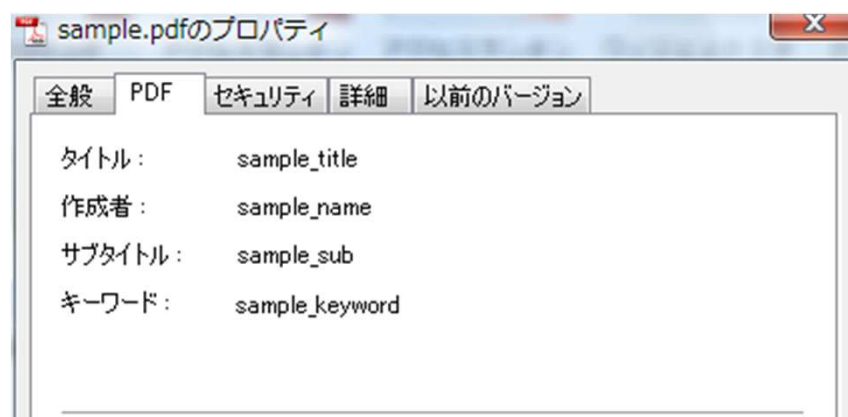


2-2. 文書プロパティ

タイトルや作成者などの情報を登録することができます。



登録した情報は、作成したPDFのプロパティから確認することができます。



2-3. セキュリティ

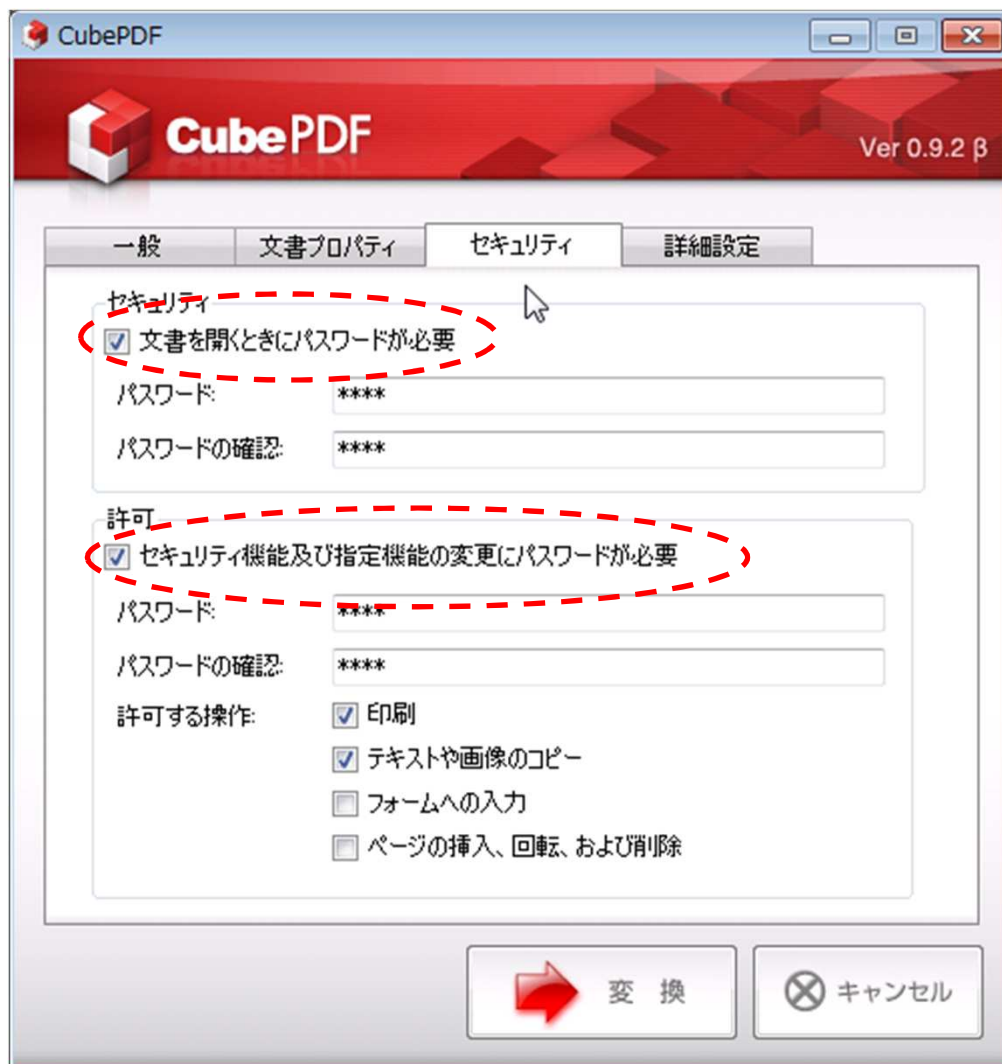
作成した文書にパスワードをかけることができます。

文書を開く際にパスワードをかける場合は、「文書を開くときにパスワードが必要」にチェック。
「パスワード」及び「パスワードの確認」欄に、同一のパスワードを入力してください。

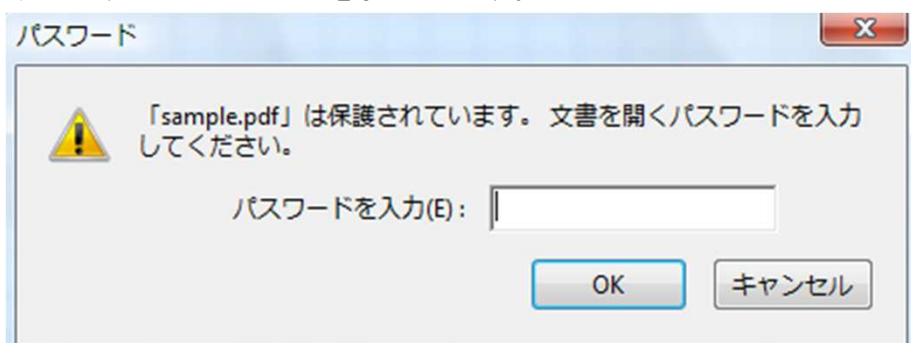
また、PDF文書の印刷やコピー、回転などの操作を行えるかどうか、パスワードで許可を与えることができます。

「セキュリティ機能及び指定機能の変更にパスワードが必要」にチェック。

「パスワード」及び「パスワードの確認」欄に、同一のパスワードを入力し、許可する操作を選択してください。



パスワードがかかっている操作を実行しようとする、
このような画面が出、パスワードの入力を求められます。



2-4. 詳細設定

ダウンサンプリング(画像内のピクセル数を減らすことで容量を軽くします)を設定することができます。

平均化…作成した文書のピクセルが平均化され、文書全体を指定解像度の平均ピクセルカラーに置き換えます。

バイキュービック…加重平均を使用してピクセルカラーを決定します。この方式では、通常ダウンサンプリングの単純な平均法よりも滑らかになります。反面、バイキュービック法は最も時間がかかります。

サブサンプル…文書全体の中心にあるピクセルが選択され、全体が選択されたピクセルカラーに置き換えられます。サブサンプル法は処理時間が大幅に短縮されますが、滑らかさは劣ります。



オプション



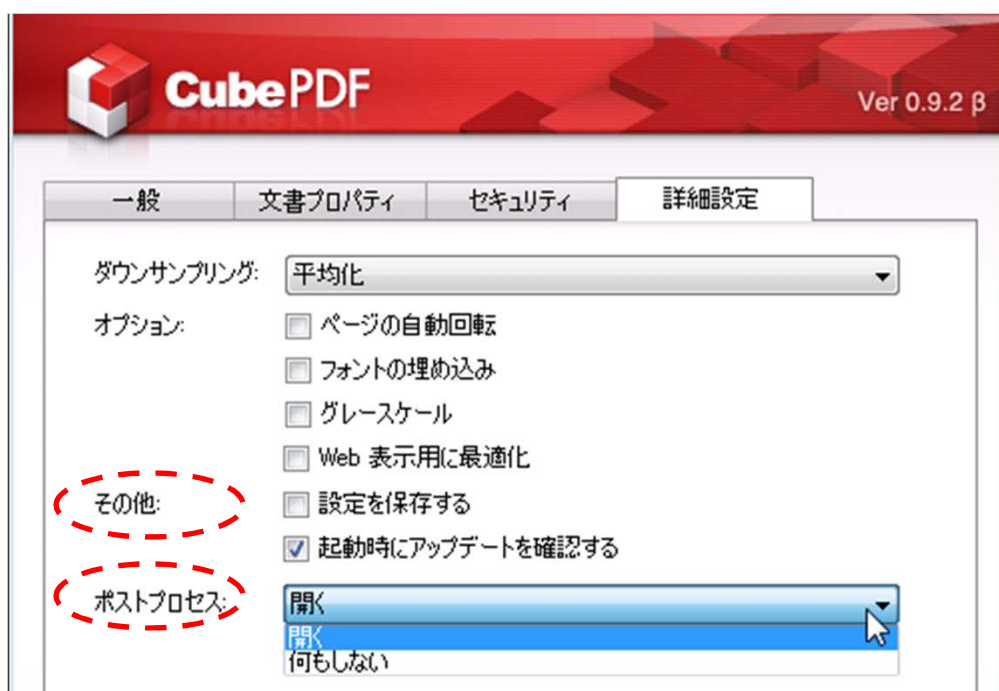
ページの自動回転…縦横の比率から、画面に表示しやすいよう最適な方向に自動で回転します。

フォントの埋め込み…フォントの埋め込みを行うと、文章で使用しているフォントがない環境でも表示できるPDFを作成することができます。しかし、ファイルサイズが大きくなります。

グレースケール…白黒でPDFを作成します。白黒印刷される際に便利です。

Web表示用に最適化… PDFを作成した際に、WEB表示に最適な縮尺を判断して表示します。

その他



設定を保存する…

アップデートの確認…「起動時にアップデートを確認する」にチェックを入れると、CubePDFがバージョンアップされた際に更新案内が表示されます。初期状態ではチェックされています。

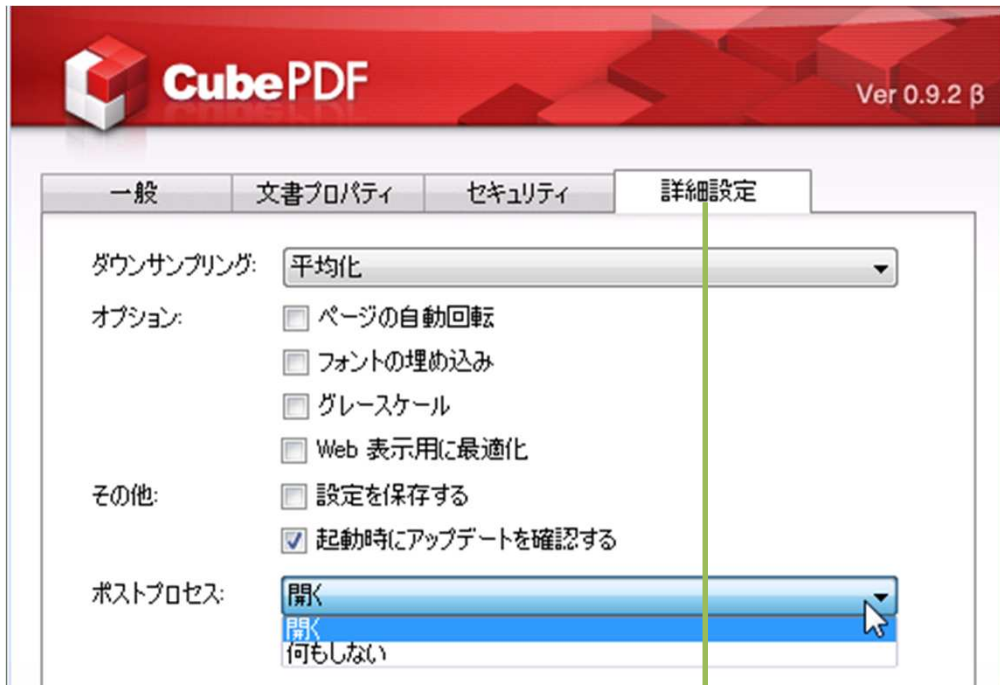
ポストプロセス

ポストプロセスは、初期設定では「開く」になっています。
「何もしない」を選択すると、PDFファイルを作成した際に、作成したPDFが開きません。
ファイルとして保存されるのみとなります。

3. CubePDFの拡張機能(アドバンスモード)

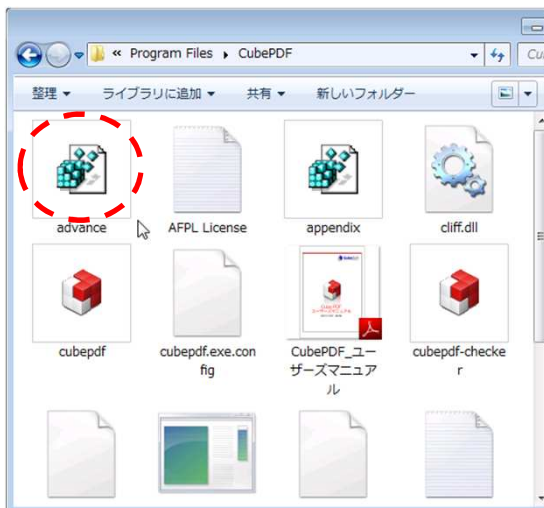
3-1. 他のアプリケーションとの連携

ポストプロセスは、初期設定では詳細設定タブにあります。
「開く」「何もしない」のみ選択することができます。



3-2. アドバンスモードにするとUIが拡張されます

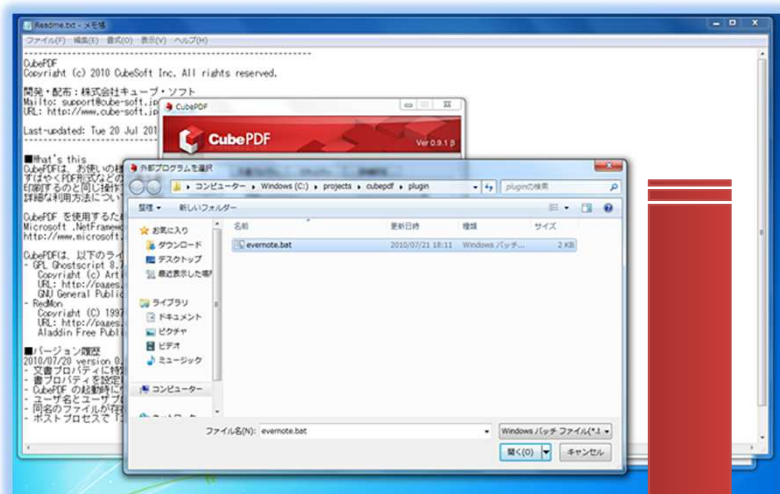
adovence.regをダブルクリックすると、いままで詳細タブにあったポストプロセスが一般タブに移動します。



「ユーザープログラム」が追加されています。
これを利用することにより連携することが可能です。

3-3. 例 EVERNOTEとの連携

アドバンスモードでEVERNOTEと連携させた場合です。

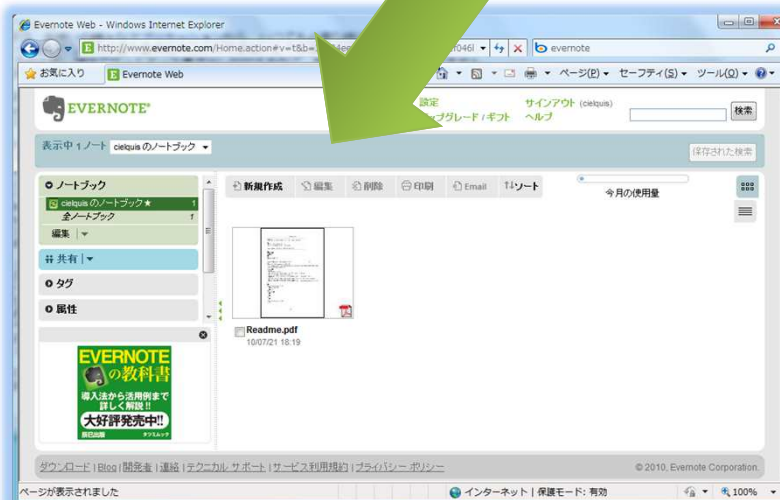
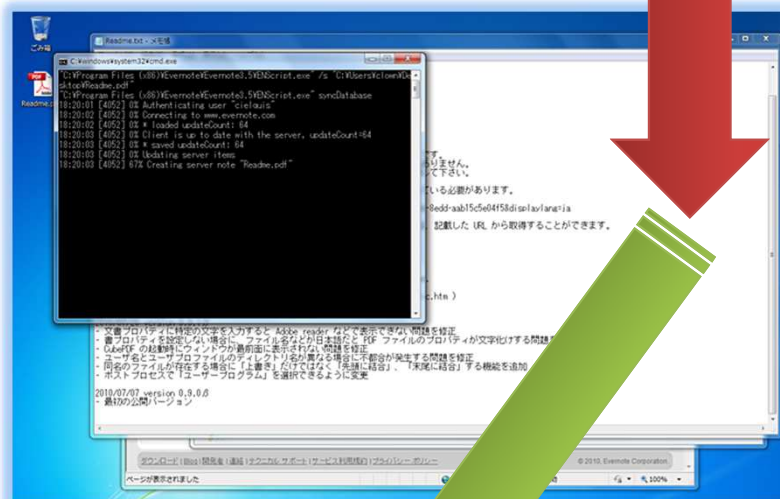


連携用には bat ファイルを使用します。

連携用バッチファイル説明については
以下を参考に。



<http://www.cube-soft.jp/cubepdf/faq.php?no=4>



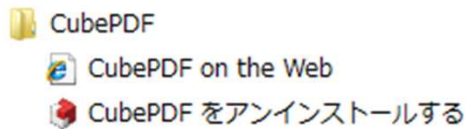
Evernote for Windows を起動せずに
アップロードまでスムーズに。

CubePDFのアンインストール

アンインストールには、2通りの方法があります。

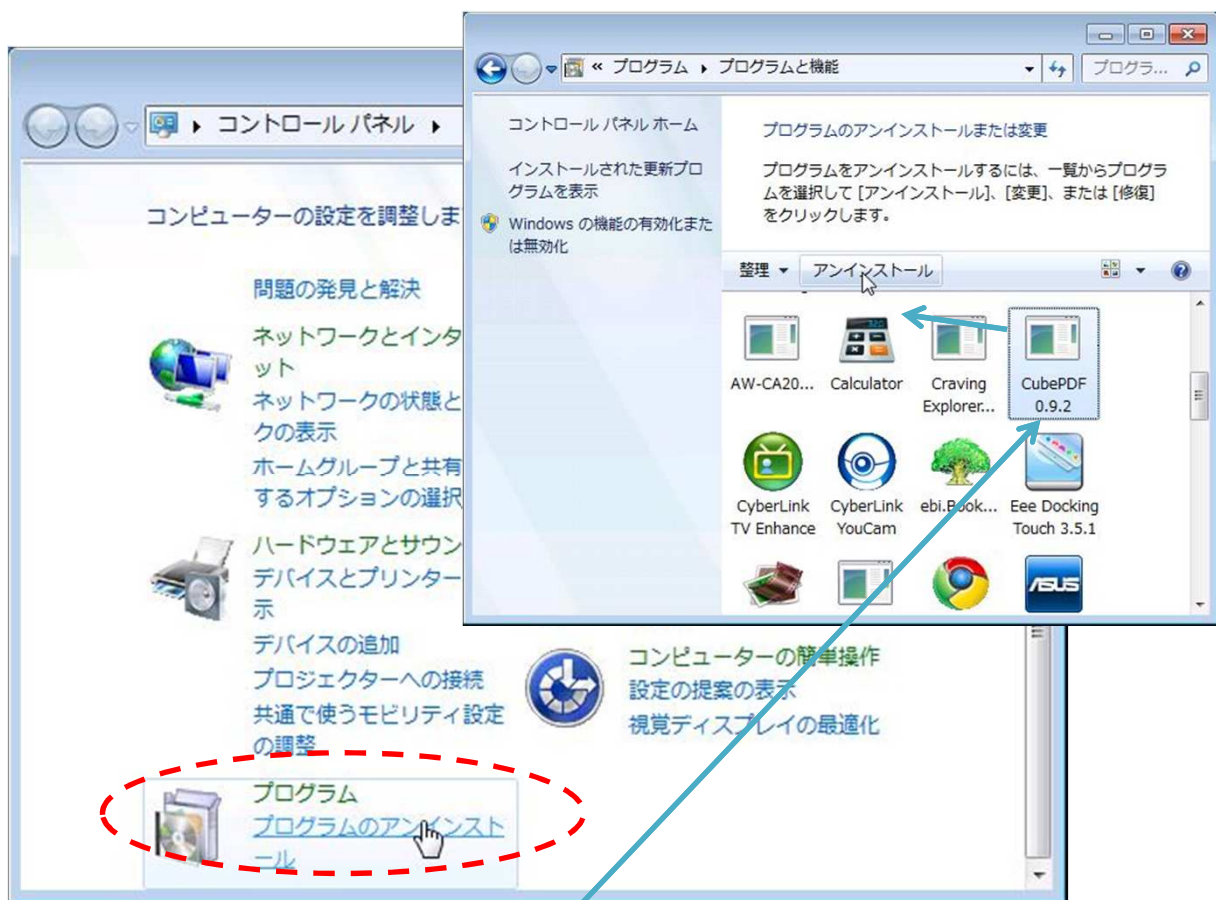
1. スタートメニューからアンインストールする方法

「スタートメニュー」内の「CubePDF」→「CubePDFをアンインストールする」をクリック



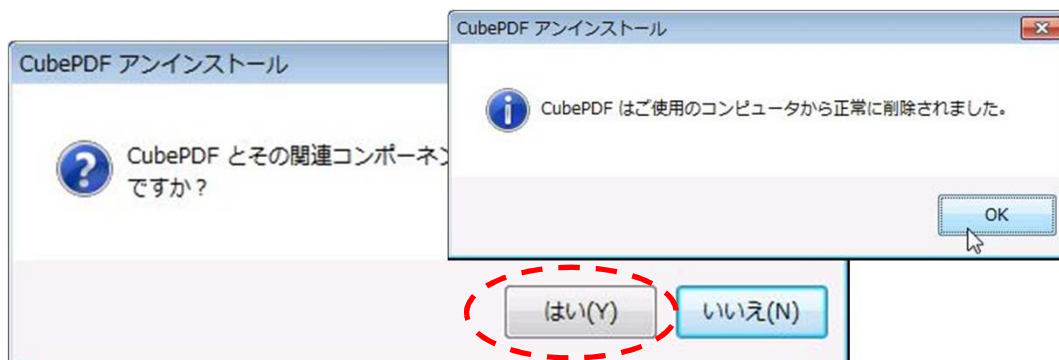
2. コントロールパネルよりアンインストールする方法

「コントロールパネル」内より削除するの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」(Windows 7 の場合)



CubePDF0.9.2 のアイコンをクリックしアンインストールをクリック。

どちらの場合も、下の画面が表示されますので、「はい」をクリック。



1. 生成するPDFの画像を綺麗にする

利用できるプリンタの一覧から「CubePDF」プリンタを選択し、[詳細設定] ボタンをクリック

用紙/品質タブの詳細設定をクリック

グラフィック、印刷品質をプルダウン

印刷解像度を上げる

OKをクリック

印刷ボタンを押す

PDFファイルを生成

